

「鶴川図書館大好き！ 絵文集 2020」をお届けします

ここに綴じられた絵と文章は、町田市立鶴川図書館の存続を願う子ども達やその親から寄せられたものです。

町田市の公共施設再編計画において、鶴川図書館は閉館するとされました。大切な町の図書館がなくなったら本当に困ります。なんとかこの計画はストップしてほしいとの願いを込めて、2019年5月「鶴川図書館大好き！の会」が生まれ、存続に向けての活動を始めました。

鶴川図書館は、公団鶴川団地の中央に位置する「太陽の広場」を取り囲む商店街に、郵便局と並んであり、1972年開館から長い年月にわたって地域の人々に愛されてきました。広場で遊んでいる子どもたちも気軽に出入りするような安心できる場であり、定期的におはなし会が開かれ、高齢者が歩いて通える場所です。遠くに住む人にとっても、駐車場があって車で来ることができる図書館で、小さいながらも毎日たくさんの方が利用しています。

しかしながら、町田市は、今後少子高齢化に伴って、税収の減少が見込まれるとして、この地域が大切に育んできた知的財産を奪おうとしています。それは、市の団地再生の施策にも逆行するものではないでしょうか。

また、新型コロナウイルスの蔓延という非常事態に立ち至った今回、図書館の存在、そこで得られる豊富な知識や正しい情報、外出できないストレスを和らげるための読書などが如何に大切かを、多くの市民が身をもって実感したところです。

全国のあちこちの図書館が再開した折の様子を、ネットやテレビで見て、どんなに市民や子ども達が開館を心待ちにしていたかが伝わってきました。

一方、「観光」や「賑わい」といったものが、このような事態では如何にもろいものであるか、ということも明らかになりました。コロナ後の社会では、図書館が身近にあることが、今まで以上に重要なものと認識されることを確信しております。

そして、鶴川地域が、安心して子育てできる町、知的環境も整った町としてこれからも新しい若い住民を迎え、高齢になるまで豊かに過ごせるような町にしていけたらと心から願うものです。

2020年6月5日

鶴川図書館大好き！の会 代表 富岡秀行

連絡先 鈴木真佐世 ☎042-734-3964

メールアドレス s-masayo@khc.biglobe.ne.jp